

胃がん・肺がん・大腸がん検診のお知らせ

日 時 月 日 受付時間 … 午前 9 時 0 0 分 より 午前 1 0 時 0 0 分まで

検診会場

持ち物

- ・ 問診票・大腸がん検診検査キット（大腸がん検診申込者のみ）
- ・ 健康保険証等（氏名、年齢、住所の確認）

検診料金

科 目	対象年齢（検診当日）	料 金
胃がん検診（バリウム）	満50歳以上の偶数年齢の方※1	1,100円
肺がん検診（X線）	満40歳以上のすべての年齢の方	無料
肺がん検診（喀痰）	満50歳以上の方 ※2	400円
大腸がん検診（検便）	満40歳以上のすべての年齢の方	400円

※1 奇数歳であっても、直前の偶数歳時に札幌市胃がん検診を受診していない方は受診可能です。

※2 問診の結果により実施します。

◎費用が免除される方……確認できる書類をお持ちください。

免除対象者	持参書類
70歳以上の方	健康保険証等の年齢を確認できるもの。
65歳から69歳の方で後期高齢者医療制度に加入の方（重度障がい者など）	(1)～(2)のいずれか1点 (1) 後期高齢者医療被保険者証 (2) 後期高齢者健診受診券
生活保護世帯の方	(1)～(2)のいずれか1点 (1) 生活保護受給証明書 (2) 生活保護世帯健康診査受診券
市・道民税非課税世帯の方	(1)～(2)のいずれか1点 (1) 市・道民税の「課税」または「所得」または「納税」証明書 (18歳以上の世帯全員分が必要、区役所及び市税事務所が発行) (2) 介護保険料の「納入」または「決定」通知書（介護保険料段階が第1・2・3段階のもの）
支援給付世帯の方	本人確認証

※確認書類をお忘れの場合は無料扱いにできませんのでご注意ください。

◎ 検診結果は4週間程度で郵送にてお届けいたします。

注 意 事 項

胃

- ① 検診前日はアルコールを避け、夜9時以降の飲食はしないでください。（水は飲んで大丈夫です）
- ② 検診当日はタバコやガム・アメなども口にしないでください。
- ③ 毎朝血圧を下げる薬や心臓病の薬を服用されている方は、検診の2時間以上前にコップ1杯程度の水で薬を飲んでお越しください。
- ④ 検診を受ける2時間以上前であれば、コップ1杯程度の水は飲んでかまいません。
- ⑤ 上半身に、金具、ボタン、ファスナー等が付かないものを着てください。
- ⑥ 女性の方は、下着類に金属、プラスチック等の付かないものを着てください。
※ 当日、検査前に飲食してしまった方や、朝インスリン注射や血糖降下剤を服用してしまった方は、当日の検査は受けられません。日程を変えて受診するか、主治医にご相談ください。
※ 検診終了後「じんましん・顔面が青白くなる・手足が冷たくなる・息苦しい等」のアレルギー症状が出た場合は速やかに検診スタッフへ連絡または、医療機関を受診し適切な処置を受けてください。

肺

- ① 上半身に、金具、ボタン、ファスナー等が付かないものを着てください。
- ② 女性の方は、下着類に金属、プラスチック等の付かないものを着てください。

大腸

- ① 「正しい大便のとり方」をお読みください。
- ② 検診日にできるだけ近い2日分の便を（便秘しがちの方は1週間前から可）採便容器に取り、検診当日持参してください。
- ③ 採便した検体は涼しい場所（冷蔵庫など）に保存してください。（凍結不可）
- ④ 生理中の方、痔の出血が明らかな方は採便をお控えください。
- ⑤ 現在大腸の病気で通院されている方は検査を受けられません。
- ⑥ 大腸がん検診のみご希望の方でも、ご来場順に受付をいたします。あらかじめご容赦ください。

裏面の注意事項も必ずお読みください。

札 幌 市

お問い合わせ

公益財団法人 北海道対がん協会 〒065-0026 札幌市東区北26条東14丁目 TEL (011) 748-5511

バリウム検査をお受けになる前に必ず全ての項目をご確認ください。

バリウム検査による胃がん検診を受けた場合、まれにご本人の体質や過去にかかった病気によってはアレルギーによる重篤な症状がでたり、バリウムが原因となり腸閉塞を起こしてしまふことがあります。安全に検査を受けていただくために、次の項目を必ずご確認ください。

① 次の項目に該当する方は、バリウム検査による胃がん検診を受けることができません。医療機関にご相談の上、ほかの検査をお受けください。

- 妊娠中、または妊娠の可能性がある方。（授乳中の方は受診できます）
- 体重が110kgを超える方。
- 検査台にひとりで立てない、体位変換ができない、握り棒を持って体を支えることができない方。
- 便秘が1週間前後続いている方。
- 飲み込みの障害や過去の検診でバリウムが気管に入ったことがある方。
- 慢性呼吸器疾患で、常時酸素吸入をしている方。
- 腎臓病や心臓病などで水分制限を受けている方。
- 過去に、胃バリウム検査で「じんましん・顔色が青白くなる・手足が冷たくなる・息苦しいなど」のアレルギー症状が出たことがある方。
- 胃ろう施術をされている方。
- すでに胃がんと診断され、治療や経過を見ている方。
- 腸閉塞・腸ねん転・大腸憩室炎などで治療中または、治療されたことのある方。
- 大腸ポリープの内視鏡治療をして3ヵ月以内の方。
- 大腸疾患により、人工肛門を造設されている方。

② 次の項目に該当する方は、主治医にバリウムによる胃がん検診の可否について相談してください。主治医の許可があれば受診できます。

- 胃の病気で現在治療中の方
- 食道・胃・小腸・大腸の手術をして1年以内の方。
- 肝臓・膵臓・胆のう・婦人科等の手術（腹腔鏡下手術も含む）をして6ヵ月以内の方。
- 炎症性疾患（潰瘍性大腸炎・クローン病）で治療中の方。

ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。北海道対がん協会 札幌がん検診センター
（連絡は平日の午後1時から5時までの間をお願いいたします。）TEL 011-748-5511

公益財団法人 北海道対がん協会『個人情報取り扱い』について

2017年4月1日制定

受診に際して提供される皆様の「個人情報」の取扱いは、以下のとおりとさせていただきます。受診の際の情報は、検(健)診を実施するためにはなくてはならない情報です。ご理解の上、ご同意をお願いいたします。なお、ご同意いただけない場合は、当協会の検(健)診をお受けになることはできませんので、予めご了承ください。登録された情報の開示を請求し、内容に誤りがある場合は、訂正・削除することができます。

個人情報の利用は次の範囲とし、他の目的には使用しません。

検(健)診時の呼び出しは、お名前を使います。	精密検査を受けていない方に受診を勧める為に使います。
検(健)診結果を通知するために使います。	検(健)診を受けて頂く為の勧奨に使います。
検診結果はがん検診の精度管理に活用する為に使います。	

※『このがん検診は札幌市からの委託事業であり、名前や住所などの個人情報を含め、検診結果についても札幌市に報告いたします。』

【個人情報の具体的な利用範囲】

- ① 当協会の活動
検(健)診サービス、他医療機関との連携、医療保険事務、会計・経理、医療事故の報告、ご家族への病状説明、審査支払機関へのレポート提出、審査支払機関・保険者からの照会への回答、検(健)診受診勧奨・症例研究、国・地方公共団体・外部監査機関及び公的機関からの照会への回答
- ② 外部への情報提供（契約なし）
医療機関からの照会に対する検査情報の提供、法令的要求に基づく検診結果の通知、医師賠償責任保険に必要な医療専門団体・保険会社への相談・提出
- ③ 外部への情報預託（契約あり）
検体検査業務の委託、外部医師への診断委託、検(健)診受診勧奨の為に情報処理委託
- ④ データとしての資料の活用
検(健)診の精度管理、検(健)診業務のサービス向上

公益財団法人 北海道対がん協会 個人情報相談窓口（総務課長）
電話 011-748-5511（平日午前9時から午後5時）
E-mail:office@hokkaido-taigan.jp